

■ 平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
文 量 等	全体	97	文 量	○より短くすること。	<ul style="list-style-type: none"> ・9月21日を平和の日に定めているから宣言するわけではない。 ・特定日(9月21日)を明示することに違和感があり、削除しても文章の意味は通じる。 ・9月21日は事業レベルではないか。
	⑨	24		○高山市の紹介部分を、少し控えめにすること。	<ul style="list-style-type: none"> ・⑦と⑧(資料2)とを入れ替えてはどうか。 ・平和の日制定から3年しか経過していないから触れないということではなく、これからが大切。 ・平和の日をステップにして、都市宣言を作っていくと考えると残したい。 ・国際平和デーが9月21日と周知されていない。認識していただくためにも入れた方が良い。
	⑧⑱	20	文言(世界へ発信)	○市民の平和への行動について、対外的にアピールする部分を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・全てを盛り込むことは難しい。子ども向けの説明や補足で、説明していくのが良い。 ・⑦『さらに、国際平和デーにあたる9月21を「高山市平和の日」と定め、』は、高山市の平和の取り組みとして、大切であり、残したい。
	⑧⑱	21	文言(世界へ発信)	○戦争をしているところに訴えかける文章を入れること。	<ul style="list-style-type: none"> ・案1 国際平和デーにあたる9月21日を「高山市平和の日」と定め、 ・案2 ⑦のまま <p>●結果:案1とする。その他は修正なし。</p>

■平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
分かりやすさ等	全体	94	分かりやすさ	○(子どもには、)難しい。子ども向けに、より簡単な言葉を使用すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・広島、長崎の平和宣言にも「恒久平和」が入っている。 ・「恒久平和」は、日本国憲法の前文(日本国民は、恒久の平和を念願し、)にあり、中学で学習する。細かく解説しない方が良い。 ・子どもに考えてもらうという意味では、あえて解説を作らないということも選択肢。 ・<u>子どもには、親が説明できるし、家族で話したり、辞書をひいたりして、勉強してもらいたい。子ども自身が、イメージを膨らませてほしい。</u> ・恒久平和は、定着している言葉。 <p>●結果:修正なし</p>
	全体	95	分かりやすさ	○子ども用の宣言を作成すること。	
	全体	96	分かりやすさ	○子ども達に分かるように、絵を添えること。	
	⑧	16	分かりやすさ	○「恒久平和」という言葉が難しいため、別の言葉に言い換えること。	
	⑩	30	分かりやすさ	○「脅威」という言葉は難しいため、別の言葉に改めること。	
	⑳	86	分かりやすさ	○「市制施行」との言葉は、難しいため、別の言葉に改めること。	
	⑲	83	文章表現	○倒置法に違和感がある。普通の文章とすること。朗唱しにくい。	
⑲	84	体裁	○行動を示す文章について、分かりやすくするため、最初の文と後の3つの文の間に、空欄を設けたり、「」をつけたりすること。	<ul style="list-style-type: none"> ●結果:保留 ※最終文案完成時に再確認 	

■平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
具体性等	⑧	15	具体性	○「世界に向けて恒久平和の実現を訴えています」を具体的な表現にすること。	<p>・前回までの考え方(市民の平和への行動を促す宣言文とする。ただし、行動を限定せず、読んだ人が、各々にイメージを膨らませることができる文章としたい。)のとおり。</p> <p>●結果:修正なし</p>
	⑱	79	具体性	○具体性がない。どう行動すれば良いかを示す内容(指針)を記載すること。	
	⑱	80	具体性	○自然や文化、人との絆、多様な文化を尊重するだけでは、平和は守れない。これ以外の取り組みを記載すること。	
	⑱	81	具体性	○絶対、戦争をしないという意志表明を記載すること。	
	⑱	82	行動制限の懸念	○市民の行動として示している文章を、市民の平和への行動を制限しないものとする。	

■平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
文言等 (市の紹介)	②	1	文言(飛騨山脈)	○高山市の豊かな自然の代表として、莊川地域からは「飛騨山脈」が望めないため、「白山連峰」を加えること。	・前回までの考え方(飛騨山脈に代表される として としており、飛騨山脈以外に配慮)のとおり。 ●結果:修正なし
	③⑬	4	文言(豊かな自然)	○高山全域が、自然が豊かなわけではないし、昔と比べても、自然が減っているため、高山の自然を、「豊か」と形容しないこと。	・厳しい自然もあることから、「恵まれ」ではなく、「囲まれ」としている。 ・文字通り、自然に囲まれているため、「囲まれ」が良い。 ・「囲まれ」の方が、飛騨山脈以外の自然を想像しやすい。 ●結果:修正なし
	③	5	文言(豊かな自然)	○「豊かな自然に囲まれ」は、単に位置的表現であるので、「豊かな自然に恵まれ」もしくは「豊かな自然に包まれ」とすること。	●結果:修正なし
	⑤	10	文言(国際観光都市)	○観光都市は、高山の一部の地区のみ。また、「国際観光都市」だから平和宣言するとの印象があるため、「国際観光都市」の表現を見直すこと。	・昭和61年の「国際観光都市宣言」には、「 <u>伝統的文化都市・高山市を、…広く交流を通じ、諸外国に理解を求めるとともに、…市民参加を基調とした国際親善を推進するため…宣言します。</u> 」とある。 ・文化があり、学んでもらえる都市が国際観光都市と考えた場合、国際観光都市は残したい。
	⑤	11		○『国内外の多くの人々に愛される「国際観光都市」』とすること。	・国内外から多くの人々が訪れるから、国際観光都市ではないので、「国内外から多くの人々が訪れる」は削除したい。この場合、「育み」とするか「育む」とするか。 ・「育む」とすると、④「祭りや匠の技などの伝統文化を育む」のみが国際観光都市に係ることになってしまう。
	⑨	22	文言(国際文化都市)	○観光に偏重しているため、「国際文化都市」などの面について、記載すること。	●結果:国内外から多くの人々が訪れる「国際観光都市」 ●結果:「育み」のままとする。
	⑥	12	文言(周りとのつながり)	○「周りとのつながり」について、詳しく記載すること。	・前回までの考え方(「周りとのつながり」は、人と自然、異文化交流など、いろいろな意味をイメージさせる。)のとおり。
	⑥	13	文量	○文の流れをスムーズにするため、「周りとの」を削除すること。	●結果:修正なし
	⑦	14	接続詞	○「さらに」を、「また」などの別の接続詞に改めること。	・前回までの考え方(恒久平和の実現を訴えていることを強調するため、「また」ではなく、「さらに」とする。)のとおり。 ●結果:修正なし

■ 平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
文言等 (世界の現状)	⑩	31	文章表現	○「紛争・テロ・飢餓」と「核兵器の脅威」が、はっきりと並列に読めるよう、文章を改めること。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で紛争・テロ・飢餓があるが、核兵器の脅威はそうと言えるのか。 ・「飢餓」は直接、核兵器の脅威へと繋がらないと考えれば、「紛争・テロ・飢餓が後を絶たず、<u>また核兵器の脅威にもさらされている</u>」としてはどうか。 ・「核兵器の脅威にさらされている」は、前の文章「紛争・テロ・飢餓が後を絶たず」を受けたものではないが、現状の文章で、意味は通じる。 <p>●結果:修正なし</p>
	⑩	32	文言(争い)	○内紛、テロ、核、差別、犯罪などは、人間の利己的な争いが原因であるので、「争い」という言葉を記載すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・紛争に、「争い」が入っている。 ・人間の争いについては、既に、「しかし、世界の各地では、<u>紛争・テロ・飢餓が後を絶たず</u>…」で表現されている。 <p>●結果:修正なし</p>
	⑩	33	文言(個人主義)	○核兵器だけが脅威ではないため、「個人主義的な考え方が脅威」であることを記載したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の文案には、<u>個人主義に対して、「周りとのつながり」、「多様な文化を理解」</u>が入っている。 <p>●結果:修正なし</p>
	⑩	26	接続詞	○「しかし」を削除すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成上、「しかし」は必要。 <p>●結果:修正なし</p>

■平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
平和の定義等	⑧⑪	17	文言(平和の定義)	○高山市が目指す「平和」が記載されていない。また、戦争が無いことが、平和ではない。「平和の定義」について考え、記載すること。	<p>・子どもたちのアンケートに「笑顔」があったので、「笑顔」を入れてはどうか。</p> <p>・「安心して平穏に暮らせる」としてはどうか。</p> <p>・「平和」という言葉は重層的。日常の平和、家族の平和、地域や市の平和、国家の平和、全世界の平和。あえて、「平和」を他の言葉で定義づけ、多様性を失わせるよりも、子どもを含め、各々が自分なりの平和をイメージできる「平和」という言葉を使用するのが良いのでは。</p> <p>・「必ず」が強すぎる表現ではないか。</p> <p>・「～平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します」については、力強さを感じる表現で、このままで良いのでは。</p> <p>・「世界中の人々」ではなく、「世界中の誰も」の方が、より身近な表現ではないか。</p> <p>・「人々」と「誰も」に、修正するほどの大きな違いはない。</p> <p>●結果：修正なし</p>
	⑪	46	文言(平和の定義)	○私たちは世界中の誰もが、安心して、幸せに、そして平和に暮らせる日が必ず来ることを願い、行動します。」とすること。	
	⑪	47	文言(平和の定義)	○「私たちは、世界中の子どもたちが、大人たちが安心して平和に暮らせる日の実現のために」とすること。	
	⑩⑱	42	文言(差別)	○もう少し身近な問題である「差別」について記載すること。	
	⑪⑱	45	文言(普段の日常)	○世界平和は大切だが、我々の普段の生活が平和の原点。「普段の日常」、「家庭の平和」について記載すること。	
	⑩⑱	43	文言(いじめ・暴力)	○身近な小さな戦争(いじめ、暴力)を失くすことが平和につながるため、「いじめ、暴力」について記載すること。	
	⑭	57	文言(人権)	○生存権が尊重されていることが基本であるので、「人権等」について記載すること。	
	⑱	82	行動制限の懸念【再掲】	○市民の行動として示している文章を、市民の平和への行動を制限しないものとする。	
	⑪	48	文章表現	○「平和に暮らせる日が必ず来る訪れる」とすること。	
⑪	49	文章表現	○「願う」ではなく「信じ」とするか、または、「必ず」を削除すること。		

■ 平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
文言(核・核兵器)	⑩⑬	39	文言(核、核兵器)	○高山市として、これまで、核兵器について、それほど、考えてきていないため、高山市の平和宣言として、「核兵器」について記載することは適当ではないこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・「核兵器」による悲劇は、繰り返されてはならない。記載すべき。 ・特定の国を連想させるについて、保有国は複数であり、特定していない。 <p>●結果:修正なし</p>
	⑩⑬	37	文言(核、核兵器)	○核兵器について、広島や長崎のことを触れること。	
	⑩	34	文言(核、核兵器)	○核兵器の脅威は、具体的すぎて、特定の国を連想させるため、修正すること。	
	⑩	35	文言(核、核兵器)	○「抑止力によって保たれる平和は、真の平和ではない」ことを記載すること。	
	⑩⑬	36	文言(核、核兵器)	○「核兵器」に限定せず、原子力発電を含む「核」の脅威を踏まえた内容とすること。	
	① ⑩ ⑬	38	文言(核、核兵器)	○核について、更に強調(核兵器廃絶、非核、非核都市宣言)すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの考え方(核兵器廃絶に特化した内容ではない)のとおり。 <p>●結果:修正なし</p>

■ 平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
文言(市民の行動)	⑫	54	文言(現在)	○今を大切に、しっかりと未来につなげていく必要があるため、過去と未来だけではなく現在について記載すること。	・「私たちは、～行動します。」が現在について述べた文章。 ●結果:修正なし
	⑬	56	文言(愚かさ)	○愛する人を守るために戦った人もいるから、「愚かさ」を修正すること。	・この文章は、戦争そのものを愚かと言っている。人に対してではない。 ●結果:修正なし
	⑬	9	文言(戦争と～命の大切さをの順番)	○戦争と核兵器の悲惨さ、愚かさ、恐ろしさ、そして命の大切さを」の順番	・前回までの考え方(命の大切さを強調)のとおり。 ●結果:修正なし
	⑮	58	文言(自然環境保護)	○戦争がなくなっても、地球を守る行動がないと安心して暮らせない。自然エネルギーの推進、環境を守る取り組みを記載すること。	・前回までの考え方(自然環境については、「私たちは守り続けます。豊かな自然、～」で反映)のとおり。 ●結果:修正なし
	⑯⑱	59	文言(誇れる伝統文化)	○「自分たちの文化を誇る」ことは、他文化の排除になる恐れがあり、「多様な文化を理解」と矛盾するため、「誇れる」を削除すること。	・自分たちの文化を理解し、誇れるからこそ、他の文化を認め、理解し、尊重できる。 ・受入難い文化もあるかもしれないが、基本的には、様々な考えを理解し、尊重しながら、話し合っ物事を進めていくのが良い。相手の文化を全く否定しては、物事が話し合いで、進んでいかない。 ・国際観光都市として国内からお客様をお迎えできるのは、誇れる伝統文化があっこそ。 ・子どもたちの意見にあった、虐待がない、いじめ、暴力がないといった人権に関することが心に残り、「対話を通じ、多様な価値観を理解することを」としたらどうか。 ・多様な文化を理解するということは、多様な価値観の理解へつながる。 ●結果:修正なし
	⑱	60	文言(文化の尊重)	○多様な文化による争いを含めて尊重すると読み取れる。また、人権侵害につながるような、受け入れ難い文化も存在するため、「尊重」を削除、もしくは、「対話」に置き換えること。	

■ 平和都市宣言 市民意見 検討表(第9・10回結果)

検討区分	文中番号	意見番号	意見区分	市民意見の論点	検討結果
文言(市民の行動)	②0	85	文言(80周年)	○「80周年」は、宣言に関係ない。また、80周年記念で行ったと、宣言が軽んじられる懸念があるため、「市制施行80周年」を削除すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、見たときに、あったほうが良い。 ・子どもたちの心に残ることを考えたとき、80周年があったほうが良い。 ・80周年のために宣言するのではない。約9割の自治体が既に宣言しているなか、80周年で宣言することを記載する必要はないだろう。 ・いつ宣言したかは、宣言日が記載される。 ・市民憲章は市制施行30周年に制定されているが、本文にはその記載はない。 ・80周年は旧高山市のことであることを考え、削除したほうが良いのでは。 <p>●結果:「市制施行80周年にあたり」は削除。</p>
	②0	90	文章表現	○主語をはっきりさせるため、「永久に平和都市」の主語として、「高山市」を追記すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・案1: 私たち高山市民は、<u>ここに高山市が永久に平和都市であることを宣言します。</u> ・案2: 私たち高山市民は、<u>高山市が永久に平和都市であることをここに宣言します。</u> ・案3: 私たち高山市民は、永久に平和都市であることを宣言します。 ・平和都市の主語として、「高山市」を追記すると、「高山市」だけのことを言っていることになるが、それで良いのか。 ・高山市の平和都市宣言であるので、「高山市」を追記するのが適当。 ・市民が主体という意味で、「高山市民」はあった方が良い。 <p>●結果:案1とする</p>